

シゾイド・パーソナリティ障害の診断基準

- A. 社会的関係からの遊離、対人関係状況での感情表現の範囲の限定などの広範な様式で、成人期早期までに始まり、種々の状況で明らかになる。以下のうち4つ（又はそれ以上）によって示される。

チェック

(1) 家族の一員であることを含めて、親密な関係を持ちたいと思わない、又はそれを楽しく感じない。	
(2) ほとんどいつも孤立した行動を選択する。	
(3) 他人との性体験を持つことに対する意味が、もしあったとしても、少ししかない。	
(4) 喜びを感じられるような活動が、もしあったとしても、少ししかない。	
(5) 第一度親族以外には、親しい友人又は信頼できる友人がいない。	
(6) 他人の賞賛や批判に対して、無関心に見える。	
(7) 情動的な冷たさ、よそよそしさ、又は平板な感情	
B. 統合失調症、「気分障害、精神病性の特徴を伴うもの」、他の精神病性障害、又は広汎性発達障害の経過中にのみ起こるものではなく、一般身体疾患の直接的な生理学的作用によるものでもない。	

注； 統合失調症の発症前に基準が満たされている場合には、“病前”と付け加える。

例； “シゾイド・パーソナリティ障害（病前）”

※本文は、「DSM-IV-TR 分類と診断の手引き」（医学書院）を参照しています。